



2020~21年度 D-2700 No. 32 2021年5月21日

小倉ロータリークラブ 週報

RIテーマ：“ロータリーは機会の扉を開く”

RI会長：ホルガー・クナーク 氏
(所属：ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルンRC)

地区テーマ：“日本のロータリー100周年

「新しいロータリーは機会の扉を開く」

地区ガバナー：古賀 英次氏(所属：柳川RC)

クラブテーマ：“OPEN THE DOOR TO CHANCE”

会長 松永 浩 / 幹事 豊川 智彰



表紙写真(テーマ/富士山)

スターフライヤーの東京-福岡線にて、左側の窓側席から富士山を撮影しました。航法の発達で直行ルートを取れるようになりましたので、富士山により近いルートを取るようになっています。

【写真提供：宮島 俊司 会員／機内にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093(531)1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : kokura@2700rid.com

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F TEL(531)1727 FAX(522)4333

クラブ会報委員会 委員長：宮島 俊司 副委員長：城 健一郎

委員：篠原 烈、大川 雅弘、甲木 正子

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



第3472回 例会 記録

4月30日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “四つのテスト”
- ・会員卓話
(株)電通九州 北九州支社長
久保田 彰 氏

会長の時間

松永 浩 会長

本日は今月25日(日)に開催された地区大会についてお話しします。今年度の地区大会は新型コロナウィルス変異株の急激な感染が予想されることから、地区的関係者で協議の上、無観客にて行われました。実行委員会はコロナ禍でも必ず実行すると決定していましたので、感染状況に応じて対面から無観客オンラインにスムーズに変更され、会場への出席者は、登壇者、パストガバナー、地区委員長、その他地区関係者を限定した無観客開催となりました。このような状況下でも素晴らしい地区大会が行われたことは良かったと思います。主な内容は先ず、日本のロータリー100年を記念して100人のロータリアンの表彰・授賞者挨拶が行われ、RI特別講師浦和東RCの北清治様の「主役はクラブ」についてのご講演と記念講演として歴史家・作家の加来

耕三様が歴史に学び未来を読む「徳川家康と立花宗茂」のご講演がありました。加来様はNHKの「先人たちの底力 知恵泉」によく出演されている方です。ご講演内容では徳川家康が持つ寛容を学び、柳川の立花宗茂は戦国時代最強の武将でNHK大河ドラマ誘致を目指している事のメッセージなど大変聞きやすく多くを学ぶことが出来ました。ノーベル賞受賞者 本庶 佑様の特別講演は、残念ながら動画配信となっていましたが、ご講演内容はDVDにて後日いただける事になりました。ガバナー特別表彰は朝食例会を57年続けられた福岡城西RCとポールハリスフェローを100%達成された八幡西RCが受賞されました。また選舉委員会にて次々年度ガバナーとして小倉南RC西島英利様が選ばれました。来年の地区大会は貫ガバナーエレクトの福岡南RCがホストとなり2022年4月9日10日に福岡国際会議場にて開催予定です。来年はコロナ状況が良くなり通常開催されることを願っています。

幹事報告

豊川 幹事

- ・来週は休会ですので、例会はありません。
- ・その翌週の5月14日(金)の例会は、16日(日)の清掃登山例会に変更しています。ご参加の方は、門司港駅に集合してください。

出席報告

袖須 副委員長

2020年7月1日：59名でスタート

	会員数	出席者数	メークアップ
当日の出席	63名	36名	—
先週の出席	63名	40名	21名

- ◆ゲスト 1名
・グエン ズイ ヴアン 氏（米山記念奨学生）
- ◆ビジター 1名
・金子 純 氏（八幡中央RC）

委員会報告

社会奉仕委員会

二村 委員長

①少し先になりますが、それまで例会がありませんのでご連絡いたします。5月15日（土）に、小倉駅前早朝清掃を行います。朝6時に小倉駅前に集合して下さい。軍手はご持参ください。なお、車でお越しの方は、ステーションホテルの駐車場が解放されていますので、そちらにお停め下さい。

②その翌日の5月16日（日）に、春の清掃登山例会を行います。9時40分に門司港駅に集合してください。会社の方や友人・知人をお誘いのうえ、ぜひご参加ください。

ズイ君と
呼んでく
ださい。



米山記念奨学生紹介

グエン ズイ ヴアン 氏

NGUYEN DUY VAN

国籍 ベトナム 
年齢 27歳
所属 北九州市立大学
博士課程
国際環境工学研究科
環境システム専攻

奨学生支給期間 2021年4月～2022年9月

カウンセラー 角南 雅徳 会員

みなさんこんにちは。グエン ズイ ヴアンと申します。ベトナムからきました。角南様、ご紹介をありがとうございました。私は北九州市立大学の博士課程の2年で、大気汚染について研究しております。これから皆様宜しくお願ひ致します。



ニコニコ献金

児島 副SAA

9,500円 : 今年度累計金額 346,000円

原田 光久 君

4月24日・25日に柳川で開催された第2700地区の地区大会に出ました。とても有意義な会と思いました。加来耕三という作家の歴史についての講演はいいお話をしました。立花 past governor のご先祖、宗茂の史上唯一の立派さがしっかり聞けました。来年の地区大会は2022年4月9日～10日、福岡市内で行われる予定です。

辰巳 和正 君

①4月16日に北九州ソレイユホールで、フジコ・ヘミングさんのピアノリサイタルを楽しみました。

②4月18日の博多ヨットクラブのレースは、16チーム参加してのファーストホームでした。修正順位は3位でした。

③丘みどりさん36才は、無事に再婚して第1子も授かったようです。みどりさんの離婚歴は古いファンのみ知っている個人情報ですが、今回の再婚報道により適時開示されました（笑）。

松本 篤 君

西日本新聞社が特別協賛されている平尾台トレランに参加しました。4月18日朝7時30分から、40キロを約7時間かけ、何とかゴールしました。3年ぶりのトレランで、レース中はもう二度と出るもんか、と思うのですが、終わるとまた頑張ろうと思ってしまいます。甲木さん、大変お世話になりました！

久保田 彰 君

2回目の卓話です。宜しくお願ひ致します。ありがとうございました。

会員卓話

（株）電通九州 北九州支社長

久保田 彰 氏

『危機管理における広報の重要性』

～不測の緊急事態や企業不祥事のダメージを

最小限に抑えるために知っておくべきこと～』



危機管理の概念とは、イシュー(論点)からリスクへ、それがクライシスへと進展する各段階においてやるべき対応が分かれています。モニタリングやソーシャルリスニングなどによって予兆を察知し、リスク対応のマニュアル化やメディアトレーニングなどで事前の備えを準備し、有事=緊急事態の発生に適切に対応し、事態の収束

とともにダメージの最小化をはかるという一連の流れがあります。対応を間違えば企業や当事者に回復することが困難なほどのダメージを残しますし、再発防止という観点も必要です。

失敗しないためのキーワードは、「内部統制=ガバナンス」と「法令遵守=コンプライアンス」からなる『予防』と、「情報開示=ディスクロージャー」と「説明責任=アカウンタビリティ」の『対応』、その掛け合わせです。危機管理・緊急時対応の失敗が組織の存続(持続的発展)を脅かす時代です。その重要性を謳う様々な書籍もあります。SDGsにも欠かせないことがご理解いただけるのではないでしょうか。

2007年に頻発した食品不正を例に挙げますと、不二家の消費期限切れ商品の出荷問題を皮切りに、14件ほどの食品に関連する期限や産地の改ざん・偽装などの不祥事が相次ぎました。ひとつ不祥事が大きく報道されると、相次いで同じような事象が世に出てきます。

経営コンサルタントの大前研一氏が、その著書の中でもまとめられていますが、売上高約1兆円規模だった雪印グループを解体に至らしめた、雪印食品の偽装牛肉問題で得られた利益は、僅か二千万円ほどだったそうです。北海道西友の牛肉産地偽装では、偽装した商品をあり得ないほど購入したと主張する輩が押しかけ、販売した額の4倍もの代金返還となっていました。事例全般を検証して明らかになったことは、不正の代償(減益、破綻)に比べれば、不正で得られた収益はほんの僅かにすぎないということです。なのに何故か後を絶たない企業不祥事と謝罪会見…。想定外のルートでリスクがクライシスになり得る時代。不祥事は企業や当事者の想定外からも起こり得ます。「バイトテロ」、「バカッター」、「ハラスメント」…SNSで拡散、ネット上から突然発火し、世の中に巻き起こる批判の嵐、大炎上。いきなり放たれる「文春砲」もそうです。

「広報」における攻めと守りは表裏一体。華々しく攻めの就任記者会見から一転、個人情報流出が発覚し謝罪会見したベネッセの原田会長兼社長(当時)。スカイマークエアラインズでは、批判覚悟でセクシーなCAさん制服をPRするも、大型二階建旅客機の度重なる導入延期と経営危機で釈明会見に追い込まれました。風向きは良い時ばかりではありません。逆風下での対応力が重要です。

謝罪会見や釈明会見時のマスコミ対応の失敗はダメージを拡大します。ここで例示するものは古いですが、「ささやき女将の腹話術」で廃業した船場吉兆。雪印トップは「私は寝てないんだよ!」と追いかがる報道陣を一喝。どれもが未だに良くない対応事例として引用されるものです。

阪急阪神ホテルズの食品偽装問題(2013年10月)では、発覚当初は偽装ではなく誤表示と釈明会見。「芝えびイコール小エビの総称という認識でした」と苦しい言い訳を重ね、最終的に偽装を認めトップが謝罪会見とともに辞意表明。この事件の直後に同様の偽装不祥事が他社でも発覚、公表、謝罪会見が続出しました。「謝るなら今しかない!」とカミングアウトするタイミングを創り出したということです。

(映像素材を投影)歴史に残る謝罪会見。最近でも「闇

営業問題の芸人による記者会見を受けての吉本興業社長の釈明会見、「文春砲による芸能人の不倫発覚謝罪会見」、「森会長辞任につながった女性蔑視発言への謝罪会見」…etc. 例示するまでもなく、謝罪会見はその後を大きく左右します。会見こそしていませんが、28枚もの文書公表で自らの正当性を主張し世間から批判を浴びている小室氏も対応に失敗しているといえます。法は犯していない=コンプライアンスだけでは乗り切れないのです。

前提は、企業(当事者)“性悪説”。誰もが知っている有名な企業ほど、何か不祥事が発生するとマスコミに叩かれやすい。「隠蔽しよう」と思っても不祥事は何らかの形で必ず露見します。内部告発とかで。緊急事態の発生→会見など対応に失敗→メディアによる増幅→レピュテーション低下といったダメージ→回収・補償・警告などの費用に加え、買い控えや不買運動→業績不振、株価の下落…。

謝罪会見に来る記者の特性を知ることが必要です。平常時は業界の記者クラブや経済部・産業部専門紙記者が相手ですが、緊急時は社会部の記者。矢面に立った企業のトップが質問攻めに晒され「あの記者は不勉強だ!」とご立腹なのを見聞きしますが、当然のことです。平常時の専門記者たちはその会社や業界のことを良く知っている記者ですが、緊急時に取材に動くのは専門記者ではない“不勉強な”記者たちだと心得てください。

「話せばわかる」と思っては駄目。疑り深い。「否定しないことは「肯定」と捉える。彼らの傾向を理解しておくことです。

古い雑誌記事を引用しますが、ドイツのシンドラー・エレベータが日本で起きた死亡事故にまつわる記者会見について、トップが「日本ではまず謝るべきだった」と反省の弁。原因究明のうえ、非が認められれば謝罪というものがグローバル企業のスタンダードですが、日本では少し違います。自社自身に非があるかどうかに関わらず、世間にに対して騒がせたことや被害に遭われた方などへ「まずはお詫び」が日本流です。

上手く行った謝罪会見はあるのでしょうか。何を成功と捉えるかにもありますが、2008年のブリヂストン海外子会社による賄賂性のある支出が発覚しました。こちらは先手を打って会見で情報開示し、株価の下落を最小限にとどめ、株価が上がる結果へつながったということで成功事例と言われています。記者会見観察人の梶原氏が選んだ歴代最良会見は、1997年に経営破綻した山一證券の野澤社長(当時)が行った会見。「悪いのは私たちで、社員は悪くありません」と涙ながらに語り印象的でした。私が選んだのは、2013年アルジェリアで武装集団に襲撃されたプラント会社、日揮の会見。遠藤広報部長の迅速かつ既然とした対応が素晴らしいと思います。自社のロビーですぐさま記者会見を開くなどは、なかなか勇気の要ることです。後手に回らない=先手必勝!「沈静化」をはかるには、あえて「過剰感」も必要かもしれません。

緊急時のマスメディア対応のポイントは、①迅速な発表。「正確な情報の提供」を意識するあまり、それが遅きに失しては意味がない。「(原因が)わからない」という(事態が起きている)ことをいち早く公表すること

が重要。「事実関係をすべて究明してから」が後手を招くのです。②情報の錯綜や誤報を避ける。情報管理（必要な者に伝え、必要ない者には伝えない=風評被害防止）と報道機関、対外ステークホルダーズへの説明の準備(窓口の一本化、言い方の統一)により、One Voiceで発信し伝えること。

さらに、謝るべきこと（責任）に対して真摯に向き合う態度による好印象の表出。被害者意識、先入観、また憶測や推測を交えない、誠意ある正確な発言=誠実・正確な言・動。マスコミ関係はもちろん、その背後の視聴者、読者の「期待」にキチンと応えることで納得感の獲得をはかることも重要です。

不祥事など謝罪会見でやってはいけないこと。

- ① 謝罪しない
- ② 憶測・推察・個人見解を述べる
- ③ 問題を矮小化/軽視する
- ④ 法・規遵守を強く出す
- ⑤ 自己保身を強く出す
- ⑥ 傍観者的立場の発言
- ⑦ 過剰な感情的発言
- ⑧ 業界・専門用語の多用
- ⑨ 回りくどい話法
- ⑩ 説明しそうぎる(聞かれた以上の事まで話す)
- ⑪ 情報(資料)を小出しにする
- ⑫ 語尾不明瞭・早口
- ⑬ 登壇者同士の不必要的会話
- ⑭ プライバシー侵害
- ⑮ 質問を打ち切る

ざっとでもこれだけ…ほかにもあるかもしれません。



個人の発言やSNSなどへの投稿が炎上だけでなく、謝罪・釈明の記者会見につながってしまう時代です。
2014年は広報業界の歴史的出来事がありました。個人の記者会見が世間の、いや世界の話題として大注目されたのです。「小保方晴子さん、STAP細胞騒動（2014年1月～）」彼女の会見後、世間の大騒動に発展し、所属する理研の副センター長が自殺するなど痛ましい事件も起きました。「佐村河内守氏、ゴーストライター騒動（2014年3月）」聴覚障がい者を装っていたこととゴーストライター新垣氏に創作を依頼していたことが発覚。私は佐村河内氏と、鬼武者というCAPCOMのゲーム開発で一緒したことがあります、「普通に会話できたと記憶しています…」。「野々村竜太郎元兵庫県議、絶叫号泣会見（2014年7月）」明石家さんまさんもその面白さに敗北宣言。このインパクト？は凄まじく、YouTubeで世界に拡散されました。2014年、謝罪・釈明の記者会見が新たなコンテンツを生み出す場として確立されたといつても過言ではありません。

最後に、緊急記者会見の留意事項 5 力条で締めたいと思います。

- ① 誠実に分かりやすく情報公開する姿勢を伝える。
- ② 事実と違うことは絶対に言わない。
- ③ 言うべきこと、控えること（回答範囲）をよく確認する。
- ④ 感情的にならない。
- ⑤ 反省すべきことは素直に謝る（法的責任とは別に）。

これらにプラスして、取材対応や記者会見終了後も気をゆるめないこと。“ホッと気を許した時のひと言”がマイナス記事になることもあります。記者と別れカメラの画角から逃れるまで気を許さないこと。「私は寝てないんだよ！」とか、「面白おかしく書きたいから聞いてるんだろ！」とか一喝するのはダメ絶対。

オマケに、記者の「怒り」を買いややすい言葉を挙げておきます。「知らなかった（部下・業者がやったこと）」、「法律には違反していない」、「大したことではない（業界では当たり前のこと）」、「どこも、他でもやっている（昔からの習慣）」、それと「先ほども申し上げました通り…」と返すのも要注意です。

みなさまが謝罪・釈明の記者会見に臨まれることが無いことを祈ります。緊急事態においては客觀性が損なわれ、正しい判断が出来なくなるものです。万一の場合には、必ず弁護士や私どものような外部のコンサルなどを交えて対応されることをお薦めします。

米山記念奨学会「特別寄付金」



例会当日寄付者

・原田 光久

2020～21年度累計金額

合計 3,000 円 555,000 円

次回例会予告

5月28日(金) オンライン例会

・地区協議会報告

緊急事態宣言により、以下の例会および行事を変更いたしました。

<例会>

- ・5月16日（日） ⇒ 臨時休会
- ・5月21日（金） ⇒ 臨時休会
- ・5月28日（金） ⇒ オンライン例会

<早朝清掃>

- ・5月15日（土） ⇒ 中止